

第4章

計画の主旨

計画の主旨

1 基本理念

海洋環境や社会情勢の変化に適応しながら、水産業が儲かる産業として成長し続ける姿を目指して、本計画の基本理念を以下の通り定めました。

力強く稼ぎ 持続的に成長する水産業と 漁村の賑わいづくり

上記理念のもと、前計画の成果検証や水産業を取り巻く情勢を踏まえた課題、長崎県総合計画「みんなの未来図2030」の基本理念である「ながさきの誇りと希望を力に、みんなで夢あふれる未来をひらく」に掲げた関連施策や取組の方向性も踏まえながら、

- 1 持続可能で収益性の高い経営体づくり
- 2 国内外に美味しさを届けるネットワークづくり
- 3 水産業を未来につなぐ人づくり
- 4 海とさかなの魅力を活用した浜の賑わいづくり
- 5 漁業者と浜を支える漁協づくり

の5つの基本目標と、目標達成に向けた事業群を設定し、施策を推進します。

2 基本目標と関連事業群体系



第1章 データで見る本県水産業の現状と取り巻く環境

第2章 前計画の成果検証

第3章 本県水産業を取り巻く情勢変化と課題

第4章 計画の主旨

第5章 基本目標別の取組方針

第6章 海区別の取組方針

第7章 試験研究の取組方針

第8章 私たち若手職員が描いていく長崎県の水産業の将来像

3 基本目標と指標

基本目標1 持続可能で収益性の高い経営体づくり

めざす姿

海洋環境や資源の変化に対応しながら、漁業者が収益性の高い漁業を安定的に営み、豊かな生活とやりがいを得ている

取組の概要

資源管理と漁場づくりによる資源の維持・増大、収益性の高い漁業経営体の育成、養殖業の成長産業化、拠点漁港等の生産・流通機能の強化に取り組みます

事業群

① 水産資源の維持・増大のための適切な資源管理の推進と漁場づくり

資源の維持・増大を図るため、適切な資源管理の実施と生産力を高める漁場整備を行います。

② 収益性の高い新時代の漁業経営体の育成

持続可能な漁業の実現に向け、環境変化に強く、経営感覚に優れた収益性の高い漁業経営体の育成に取り組みます。

③ 持続的な養殖業の成長産業化

養殖業の収益性向上と生産量増大を図るため、養殖生産に係る技術開発や養殖業者の経営力向上、輸出等を視野に入れた養殖生産の規模拡大等に取り組みます。

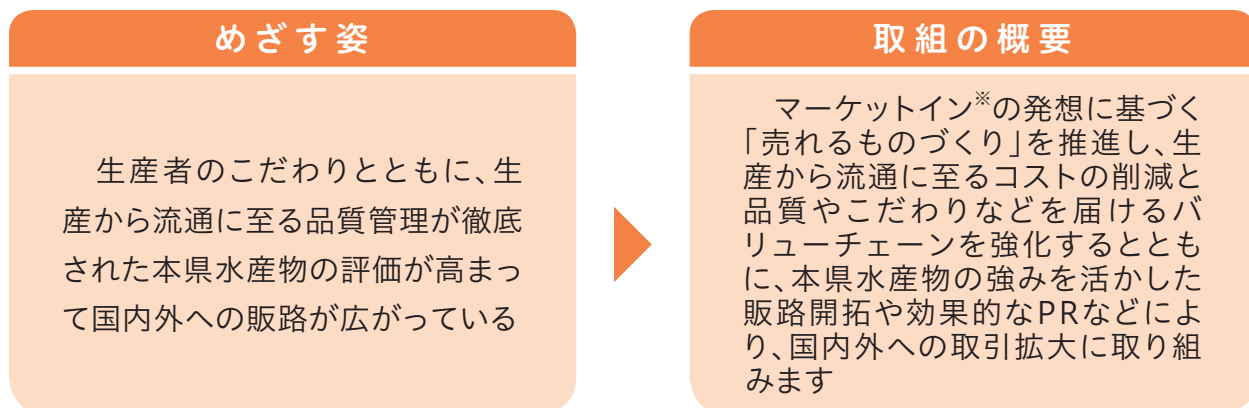
④ 水産物の生産・流通の拠点となる漁港等の整備

収益性の高い漁業の実現に向け、拠点となる漁港等の機能強化と安全で安心な港や漁村づくりを推進します。

SDGs関連目標 (P111参照)



基本目標2 国内外に美味しさを届けるネットワークづくり



事業群

① 産地魚市場の水産物集出荷機能の強化

高度な衛生管理による県産水産物の集出荷機能を強化し、優良な販路に結び付けるため、産地魚市場において、衛生管理施設の整備強化や運用改善、スマート技術による荷捌作業の効率化・省人化、PR活動による集荷増と魚価の向上など、ハード・ソフトの両面から水産物集出荷機能の強化に取り組みます。

② 県産水産物の国内バリューチェーン強化

継続的な取引拡大に繋がるバリューチェーンの強化のため、多種多様な県産水産物の魅力を発信し、社会(消費地)ニーズに対応した産地における一次加工の推進と安定した水産加工品の供給体制づくりを推進します。

③ 県産水産物の戦略的な輸出促進

本県の漁業者・養殖業者の所得向上を図るため、本県の強みを生かしつつ、経済成長が著しいアジア諸国への新規販路の開拓や、北米への輸出拡大などに取り組みます。

SDGs関連目標(P111参照)



第1章 データで見る本県水産業の現状と取り巻く環境

第2章 前計画の成果検証

第3章 本県水産業を取り巻く情勢変化と課題

第4章 計画の主旨

第5章 基本目標別の取組方針

第6章 海区別の取組方針

第7章 試験研究の取組方針

第8章 私たち若手職員が描いていく長崎県の水産業の将来像

■基本指標（基本目標1，基本目標2）

基本指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
海面漁業・養殖業産出額	1,238億円 (R5年)	1,270億円 (R12年)

■関連する事業群の指標

事業群名	関連指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
水産資源の維持・増大のための 適切な資源管理の推進と漁場づくり	効果が認められた資源管理協定の割合	—	80%以上 (R12年度)
	生産力の高い漁場整備件数 (累計)	—	25件 (R12年度)
収益性の高い新時代の漁業経営体の育成	1経営体あたりの平均漁業所得額	4,323千円 (R4～5年平均)	4,929千円 (R12年)
持続的な養殖業の成長産業化	海面養殖業生産量	22,532トン (R5年)	25,768トン (R12年)
水産物の生産・流通の拠点となる 漁港等の整備	拠点漁港の整備数(累計)	—	15漁港 (R12年度)
産地魚市場の水産物集出荷機能の強化	県内主要産地魚市場の年間取扱金額	572億円 (R6年)	603億円 (R12年)
県産水産物の国内バリューチェーン強化	新たに継続取引に繋がった 水産加工品の売上額	0円 (R7年度)	10億円 (R12年度)
県産水産物の戦略的な輸出促進	水産物輸出額	70億円 (R6年度)	100億円 (R12年度)

基本目標3 水産業を未来につなぐ人づくり

めざす姿

意欲と能力のある多様な人材が集まって水産業で活躍し、地域が豊かさや活気であふれている

取組の概要

県内外からの人材の呼び込みと受入体制の充実、定着へのサポート強化及び働きやすく暮らしやすい環境づくりに取り組みます

事業群

① 新規漁業就業者の確保と定着促進

水産業の持続的な発展を実現するため、次の世代へ漁業を受け継ぐ多様な人材を呼び込み、地域で支えながら定着を図ります。

② 働きやすく暮らしやすい漁村の環境整備

水産業の持続的な発展に向け、多様な人材が働きやすく暮らしやすい快適な漁港と漁村の環境を整備します。

SDGs関連目標(P111参照)



■ 基本指標（基本目標3）

基本指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
新規漁業就業者の5年後の定着率	70.1% (R6年度)	77.0% (R12年度)

■ 関連する事業群の指標

事業群名	関連指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
新規漁業就業者の確保と定着促進	新規漁業就業者数	199人/年 (R2~R6年度平均)	210人/年 (R12年度)
働きやすく暮らしやすい漁村の環境整備	漁港漁村の環境改善を図った施設整備地区数(累計)	—	18地区 (R12年度)

基本目標4 海とさかなの魅力を活用した浜の賑わいづくり

めざす姿

海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用した取組を目的に、県内外の多くの人々が訪れ、地域の所得と雇用機会の確保に繋がり、浜が賑わっている

取組の概要

海や漁村の豊かな地域資源を活かした海業や水産物の魅力発信を通じて、交流人口と地域消費の拡大に取り組みます

事業群

① 海の魅力を活用した人を呼び込む仕組みづくり

漁村ならではの地域資源の価値や魅力を求める来訪者を受け入れ、新鮮な水産物の販売や飲食、漁業体験等の機会を提供する海業を推進するほか、本県水産物の魅力を県内外に広く発信し、認知度向上や需要拡大に取り組みます。

SDGs関連目標(P111参照)



■基本指標（基本目標4）

基本指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
長崎県内の漁村への年間入込客数	7,793人 (R5年度)	12,000人 (R12年度)

■関連する事業群の指標

事業群名	関連指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
海の魅力を活用した人を呼び込む仕組みづくり	海業の新たな取組数(累計)	0件 (R7年度)	30件 (R12年度)

基本目標5 漁業者と浜を支える漁協づくり

めざす姿

漁協が漁村の中核組織として、漁業者の生産活動や浜の賑わいを力強く支えている

取組の概要

漁協の機能再編や経営改善、人材の確保・育成など経営基盤の強化に取り組みます

事業群

① 漁村の中核組織としての機能や役割を発揮する漁協づくり

合併や事業連携による機能再編、漁協による経営改善や事業拡充、さらには漁協業務のDX^{*}を推進することにより、漁業者や浜を支えることができる漁協づくりに取り組みます。



■ 基本指標（基本目標5）

基本指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
漁業者の所得向上を支える漁協の機能強化の取組件数(累計)	—	11件 (R12年度)

■ 関連する事業群の指標

事業群名	関連指標	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
漁村の中核組織としての機能や役割を発揮する漁協づくり	合併や事業連携に向け具体的な検討を行った活動組織数(累計)	—	8 (R12年度)

第1章
データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章
前計画の成果検証

第3章
課題
本県水産業を
取り巻く情勢変化と

第4章
計画の主旨

第5章
取組方針
基本目標別の

第6章
海区域別の取組方針

第7章
試験研究の取組方針

第8章
私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像